



日時：2023 年 1 月 12 日（木）16:00～17:15

会場：

出席理事： 赤木 禎治、石津 智子、稲井 慶、上村 秀樹、大内 秀雄、落合 亮太、笠原 真悟、齋木 佳克、立野 滋、辻田 賢一、照井 克生、中埜 信太郎、籾 義仁、檜垣 高史、平松 健司、三浦 大、三谷 義英、宮崎 文、八尾 厚史、山岸 敬幸、（以上 20 名）世良英子（坂田泰史代理）

欠席理事： 池田 智明、市川 肇、伊藤 浩、今井 靖、榎本 淳子、小川 正樹、坂田 泰史、塩瀬 明、庄田 守男、新川 武史、先崎 秀明、筒井 裕之、長坂 安子、平田 康隆、水野 芳子、吉松 淳（以上 16 名）

出席監事：松尾 浩三、森 善樹（以上 2 名）

出席顧問：市田 露子、丹羽 公一郎（以上 2 名）

欠席顧問：松田 暉（以上 1 名）

## 1. 開会

上記理事の参加を確認し、理事会を開会した。

## 2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）

議事録の確認を行った。

報告事項 2：各委員会委員長より報告（各委員長）

### ・将来構想委員会（赤木理事）

2023 年理事、評議員改選について：2023 年には次期理事長を選出する時期となる。本学会は多領域で構成されるため、他の学会と比べ理事長選出のプロセスを決定することが難しかった。しかく学会としての規模も拡大し、理事長選出方法について一定のコンセンサスを確認する得る時期になっていると考える。この内容を将来構想委員会で討議を開始し、理事長選任のプロセスの明確化する。

### ・学術委員会（稲井理事）

- ・ 研究部会（檜垣理事） 新たな申請はないが、今後の多施設共同研究を推進したい。
- ・ 教育部会（稲井理事） 2022 年 11 月のセミナーには 300 名を越す参加者があった。今後もウェビナー、セミナーを通して積極的な教育活動を推進したい。
- ・ YIA 選考部会（八尾理事） 前回報告 今回の学術集会で表彰 いずれも優れた論文であった。

学術企画部会（大内理事） 今回の学術集会での企画プログラムの紹介。来年度も学

術企画部会での立案を行っていく。

- ・ 学会編集委員会（稲井理事） 今後の学会誌発刊 2023年に学術集会号を刊行。今後とも年2回の学会誌発行を計画したい。
- ・ 専門医制度委員会（石津理事）  
本年は第2期の専門医試験を実施する。
- ・ 試験問題作成部会（稲井理事）試験問題作成は順調に進行中 現在試験問題のブラッシュアップを行っている
- ・ 専門医認定部会（立野理事） 試験日程は2023年9月18日、  
会場は東京での1か所開催  
早期に会員への試験日程の周知を行う
- ・ 修練施設部会（八尾理事） 申請状況の報告  
別表に示すように総合修練施設への申請が3施設、連携修練施設への新規申請が18施設（千葉大学を含めると19施設）あった。現在、申請書類の確認作業を行っている。これらの新規申請施設が承認されれば、すべての都道府県に成人先天性心疾患修練施設が確立することになる。
- ・ 移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事） 前回報告済
- ・ 倫理委員会（宮崎理事） 前回報告済
- ・ 保険委員会（三浦理事・赤木理事）  
成人先天性心疾患の外来診療加算の申請を日本循環器学会と日本小児循環器学会と共同して提案する予定で調整中（資料）  
指定難病による診療加算との棲み分けをどのように整合性を取るか、移行期支援加算申請とどのように差別化を図るのか、今後の検討が必要  
基本的な考えとして成人先天性心疾患診療外来加算は、本学会修練施設で中等度以上の成人先天性心疾患患者に対する診療加算となる（修練施設へのインセンティブとなる）
- ・ 移植委員会（笠原理事）  
ACHD患者の心臓移植について今後の取り組みと学会としての取り組み（資料）  
学術集会でのセッションで愛媛宣言として成人先天性心疾患患者への心臓移植医療の推進を提言する
- ・ 渉外委員会（赤木理事）  
本年より日本肝臓学会とのジョイントセッションを実施する  
2023年のACHD国際学会（APPCS, WCPCCSなど）  
第3回APSACHD 台北にて5月19、20日で計画中であり、台湾からの正式依頼があれば本学会として積極的に支援する方針である
- ・ 広報交流委員会（立野理事）  
ACHD TIMESの配信を開始（月1回のメール配布）  
ACHD NIGHTのアーカイブ配信について  
現在M3へのコンテンツ配信の費用について協議中

費用の面で予算化が可能であれば、早期にアーカイブ配信を開始する  
同時に運営経費の予算獲得も検討する

・財務委員会(立野理事)

ACHD NIGHT や ACHD TIMES の運営に関する予算獲得を検討する  
専門医試験に関わる予算が増加するため今後の検討が必要

・多職種専門職委員会(水野理事)

学術集会で市民公開講座との連携 患者会との連携を継続する

<関連委員会>

・日本循環器学会学術委員会、先天性心疾患成人先天性心疾患部会（山岸理事）

日本循環器学会成人先天性心疾患診療ガイドライン改定作業が開始されている

・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)

前回報告済

報告事項 3：

第 24 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（檜垣理事）

第 25 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（上村理事）

第 26 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（大内理事）

報告事項 4：総合修練施設，関連修練施設申請状況について（八尾理事）

前述のように成人先天性心疾患診療施設の空白県が解消する方向にある

今後はこれらの新規施設が実際の診療を開始し、継続できるシステム造りが重要である

報告事項 5：2023 年新専門医認定試験の準備状況（石津理事）

今年の専門医試験に多くの受験者があるように周知する必要性

専門医試験受験者へのセミナーの企画を立てる

審議事項

1. 2023 年度予算案の確認と承認

新専門医・専門医制度委員に対する記念品授与の予算確保

学会オリジナルの今治タオルを作成し記念品とした

同時に専門医制度・学会活動に貢献した会員にも記念品を贈呈した

ACHD NIGHT のアーカイブ発信に関する予算確保について

製薬企業、医療機器メーカーに協力の依頼を行っている

2. 2025 年における総合修練施設，関連修練施設認定の要件に関するワーキンググループ  
設立について（石津理事）

石津理事を中心にワーキンググループを作成し、現状に沿った持続可能な ACHD 診療  
施設の認定の条件を探る試みを開始することが了承された

3. ACHD NIGHT のアーカイブ発信に関する確認事項

著作権の問題について、アーカイブ配信の計画と同時に対応する必要があることが確認さ  
れた

4. フォンタン循環患者カードの作成の提言について

学会誌の論文内で上記提案があったが、新たなカードの作成は現実的ではなく、学会としては患者教育に重点を置く必要があるとの方針となった

5. 第27回学術集会会長の選出について

大阪大学循環器内科 坂田泰史先生が推薦され、全会一致で承認された

3. 次回理事会日程について

5月18日木曜日 19時開始

4. 閉会